第1章 準備

■この章でおこなうこと

BroadStation の設定を始める前の準備をおこないます。以後の作業を中断することなく、スムーズに進めるために大切なことについて説明しています。

1.1 あらかじめ確認してください

BroadStation の導入をおこなう前に、次のことを確認しておく必要があります。

■ BroadStation の設定に必要なもの

プロバイダ会社とのインターネット接続契約は、お済みですか。BroadStation をお使いになる前に、CATV/xDSL プロバイダ会社との契約を済ませておいてください。

BroadStation の設定時に下記の情報が必要です。お手元に、プロバイダから送られてきた資料をご用意ください。

● TCP/IP について

プロバイダによる　　自動設定　手動設定（どちらかを○で囲んでください）

手動設定の場合は、下記に控えておいてください。

IP アドレス	.　　.　　.

サブネットマスク	.　　.　　.

デフォルト ゲートウェイアドレス	.　　.　　.

● DNS アドレスについて

プロバイダからの　　指定なし　指定あり（どちらかを○で囲んでください）

プロバイダからの指定がある場合は、下記に控えておいてください。

DNS アドレス （プライマリ）	.　　.　　.

● PPPoE について（xDSL 回線を使用する場合のみ）

PPPoE を　　使用しない　使用する（どちらかを○で囲んでください）

使用する場合は、下記に控えておいてください。

プロバイダユーザー名 （アカウント名、アカウント ID）	

プロバイダホスト名	

プロバイダのパスワード	

サービス名 （指定がある場合）	

■　対応するパソコン環境について

Windows Me/98/95, Windows2000/NT4.0

■　パソコンの Windows のバージョンを確認する

作業を始める前に、以下の手順で、お使いのパソコンの Windows のバージョンを確認してください。

1　デスクトップ画面の［マイコンピュータ］アイコンにカーソルを合わせ、右クリックします。

2　［プロパティ］を選択します。

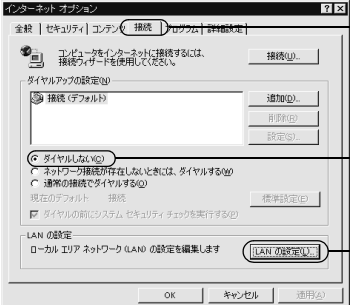
3　

表示された画面で、システム名（Windows の名称）を確認します。

⚠注意　使用上のお願い

本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。
パソコンの故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じた BroadStation の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

■　PPPoE 接続ツールのアンインストール（xDSL 回線を使用する方）

xDSL プロバイダと契約をおこなうと、PPPoE 接続ツール（フレッツ接続ツール等）が送られてきますが、BroadStation を使用するときは、必要ありません。既にインストールしてしまった場合は、アンインストールしてください。

■ WEB ブラウザの設定確認

お使いの WEB ブラウザの設定を確認して、必要に応じて WEB ブラウザの設定を変更します。

メモ　設定するパソコンにモデム /TA が接続されている場合は、パソコンから、モデム /TA に接続されているケーブルを外しておいてください。

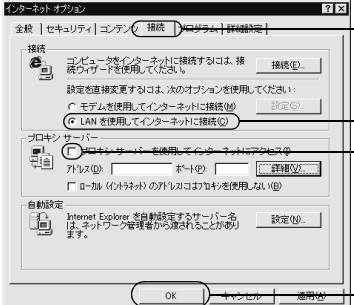
Internet Explorer5.0 以降の場合

1　Internet Explorer を起動します。

2　［ツール］－［インターネットオプション］を選択します。

3

メモ　変更前の設定が後で必要になる場合は、変更前の設定をメモしておいてください。

4

5　手順 3 の画面に戻ったら［OK］をクリックして画面を閉じます。

Internet Explorer4.0 の場合

1 Internet Explorer を起動します。

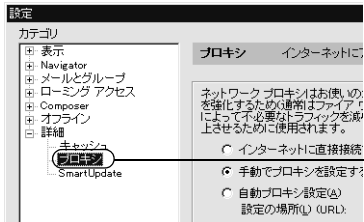
2 ［表示］－［インターネットオプション］を選択します。

3

①選択 ［接続］をクリックします。

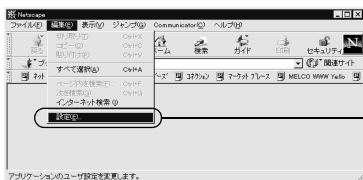
②選択 「LAN を使用してインターネットに接続」を選択します。

③クリック 「プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス」のチェックを外します。

④クリック ［OK］をクリックします。

Netscape Navigator4.0 以降の場合

1 Netscape Navigator を起動します。

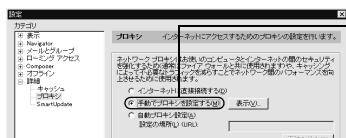
2

①選択 ［編集］－［設定］を選択します。

3

①クリック カテゴリ欄の［プロキシ］をクリックします。

［プロキシ］が表示されていないときは、［詳細］の左の「＋」をクリックしてください。

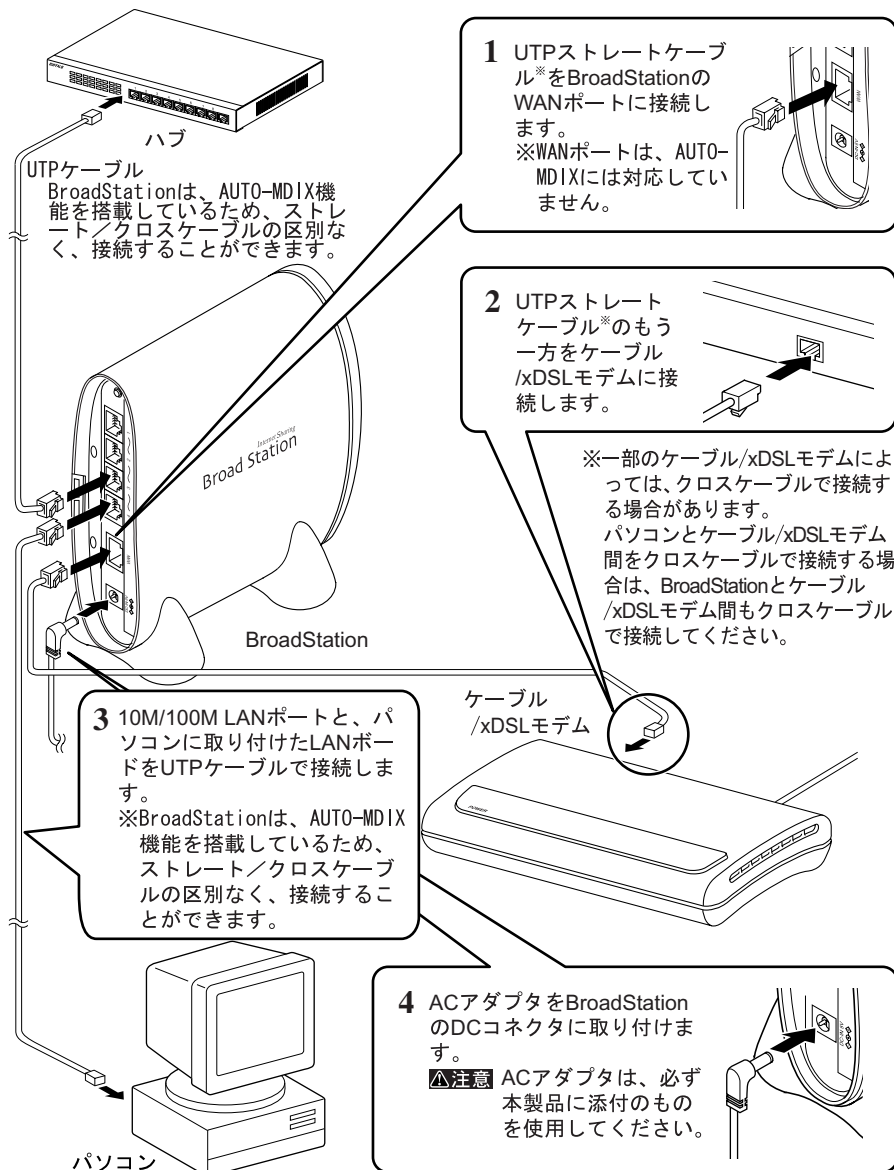
⇒ 次ページへ続く

4

1 選択 「インターネットに直接接続する」を選択します。

5 ［表示］をクリックします。

1.2 BroadStation の取り付け

■ 取り付け方

本製品の基本的な取り付け方について説明します。

■　ケーブル /xDSL モデムとの接続を確認します

以下の手順で、BroadStation とケーブル /xDSL モデムが正常に接続されていることを確認します。

1　UTP ストレートケーブルで BroadStation とケーブル /xDSL モデムを接続し、BroadStation の電源が ON の状態になっていることを確認します。

一部のケーブル /xDSL モデムによっては、クロスケーブルで接続する場合があります。
パソコンとケーブル /xDSL モデム間をクロスケーブルで接続する場合は、BroadStation とケーブル /xDSL モデム間もクロスケーブルで接続してください。

2　前面パネルの WAN ランプの状態を確認します。

点灯または点滅しているとき：
ケーブル /xDSL モデムとの接続は正常です。

消灯しているとき：
ケーブル /xDSL モデムとの接続は正常ではありません。UTP ストレートケーブルが確実に接続されているか確認してください。

1.3 ハブ／LANボード接続時の制限

■ BroadStationとハブ／LANボードを接続する際の制限事項

使用できるケーブルの種類と長さには、次の制限があります。

メモ BroadStationは、AUTO-MDIX機能を搭載しているため、ハブ／LANボードと接続するときは、ストレートケーブル／クロスケーブルの区別なく接続することができます。

10BASE-Tの場合

接続	使用するUTPケーブル	最長距離
本製品（10M/100M LANポート）～ハブ間	カテゴリ※1 3以上対応のUTPケーブル	100m
本製品（10M/100M LANポート）～パソコン間	カテゴリ3以上対応のUTPケーブル	100m
本製品（10M/100M LANポート）～10BASE-T MAU間	カテゴリ3以上対応のUTPケーブル	100m

100BASE-TXの場合

接続	使用するUTPケーブル	最長距離
本製品（10M/100M LANポート）～ハブ間	カテゴリ※1 5対応のUTPケーブル	100m
本製品（10M/100M LANポート）～パソコン間	カテゴリ5対応のUTPケーブル	100m
本製品（10M/100M LANポート）～100BASE-T MAU間	カテゴリ5対応のUTPケーブル	100m

※1 UTPケーブルのカテゴリとは、ケーブルの品質を表すもので、カテゴリ3よりもカテゴリ5の方が高速伝送に対応していることを示します。

リピータハブやデュアルスピードハブでネットワークを構築する際は、規格上、以下のような制限があります。

これらの制限を越えて接続すると、ネットワークが正常につながらないことがあります。

カスケード接続の段数

100BASE-TXの場合 － 2段まで接続可能
10BASE-Tの場合 －－ 4段まで接続可能

カスケード接続時のパソコン間の総延長距離

100BASE-TX の場合 － 205m 以内
10BASE-T の場合 －－ 500m 以内

メモ スイッチングハブを使用すると、上記の制限を越えてハブの追加や距離の延長ができます。
例： 10BASE-T のリピータハブで 4 段のカスケード接続をしている場合は、スイッチングハブを使用することにより、さらにリピータハブを 4 段カスケード接続できます。

BroadStation は、10/100M に対応した 4 ポートスイッチングハブを内蔵しています。パソコン 4 台までの環境ならば BroadStation のみでインターネットの共有や、パソコン間のファイル共有など LAN の機能が利用できます。また、パソコン 5 台以上の環境でも別途ハブを追加することにより、同様の LAN の機能が活用できます。